

掲載資料所蔵者別一覧

掲載資料所蔵者別一覧

〔文書〕

渡辺武彦氏所蔵文書

〔資料番号〕 年月日

表題  
富沢村箱根湖水掘抜記

頁  
二〇

元禄六年四月六日  
元禄八年一二月

富沢村・定輪寺村箱根  
人足賃他書上

毛 寛文一〇年

録  
富沢村年貢割付状

頁  
二七

元禄二年七月

富沢村前堰御普請に  
水掛反別帳

三 寛文一年一一月二一日

富沢村年貢割付状

頁  
二七

元禄二年一二月

富沢村前堰御普請に  
つき富沢村願書

三 寛文一二年一一月二三日

富沢村年貢割付状

頁  
二七

元禄二年七月

富沢村役米錢・箱根水  
入用帳

三 延宝七年八月

江戸町人橋本山友他三  
名請負金返済約束証文

頁  
一〇六

元禄二年一二月

元禄二年七月

三 延宝七年一一月

富沢村年貢割付状

頁  
一七

元禄二年一二月

元禄二年七月

三 天和三年四月二三日

江戸町人浅井佐次右衛  
門等金子借用につき起  
請文

頁  
一〇九

元禄二年一二月

元禄二年七月

三 天和三年四月二三日

江戸町人浅井佐次右衛  
門等金子借用につき起  
請文

頁  
一〇九

元禄二年一二月

元禄二年七月

三 天和三年一二月一四日

江戸町人浅井佐次右衛  
門等金子返済起請文

頁  
一〇九

元禄二年一二月

元禄二年七月

三 豊貞享五年四月二〇日

富沢村他二カ村畠成田  
請文

頁  
一〇九

元禄二年一二月

元禄二年七月

につき下筋五ヶ村に對  
し口上書

一五二

江戸町人浅井佐次右衛  
門等年貢代金不正につ  
き富沢村勘兵衛訴状

一二二

富沢村定輪寺前掘貫浚  
人足賃他書上

一八一

富沢村・定輪寺村箱根  
水掛反別帳

一九〇

富沢村前堰御普請に  
つき富沢村願書

一九一

富沢村役米錢・箱根水  
入用帳

一九六

定輪寺前堰御普請につ  
き富沢村扶持米請取状

一九七

富沢村堰人足書上

一九五

新川堤復旧に伴う争論  
につき深良村訴状

一七七

新川堤復旧に伴う争論  
につき井組二十八カ村

一七七

返答書

一七七

新川堤復旧争論裁許深  
良村・井組二十八カ村

一七七

八 宝永 四年 三月一八日	請書	一一〇
八 宝永 四年二月	砂取人足難儀につき富沢村米押借願	一一一
八 宝永 四年	亥ノ年箱根水水論共二入用帳	一一二
八 宝永 五年六月一三日	水掛け村々争論につき上郷返答書	一一三
九 元文 二年三月	水配役人仰付けらるにつき水掛け村々請書	一一四
九 延享 四年八月	支配替につき水掛け村々願書	一一五
一〇 延享 五年七月	用水引方につき水上村々願書	一一六
一〇 宝曆 七年七月	水配役人申合せ定書	一一七
一一 明和 四年九月	湖水門修築入用高割覚	一一八
一一 明和 七年七月	湖水門口太普請につき入用扶持米給付富沢村願書	一一九
一二 明和 七年九月	水配役人申合せ定書	一二〇
一二 明和 七年九月	渡し	一二一
一二 四年三月	二ツ屋新田と水上村々争論につき願書・水配	一二二
二〇 明和 九年三月	争論につき願書・水配	一二三
二〇 明和 九年四月	人取調書	一二四
二〇 明和 九年四月	水掛け争論につき水上村々返答書	一二五
二〇 安永 二年閏三月	用水争論につき地頭役	一二六
二〇 安永 二年一月	人宛小田原藩役人返書	一二七
二〇 安永 二年一月	湖水出入江戸路用並雜用割帳	一二八
二一 安永 三年五月	用水争論離脱につき富沢村名主宛一色村願書	一二九
二一 安永 三年一月	水掛け村々争論につき水下村々訴状	一二一〇
二一 安永 三年一月	水掛け村々争論につき水上村々返答書	一二一
二一 安永 五年七月	争論裁許につき水掛け村々申合せ	一二二
二一 安永 六年五月二二日	富沢村との用水争論につき一色村訴状	一二三
二一 安永 六年五月二八日	富沢村と一色村水論に田成畑開発につき一色村注進書	一二四
二一 安永 六年七月二六日	つき水配人口上書	一二五
二一 安永 六年七月晦日	一色村との用水争論につき富沢村請書一札	一二六

掲載資料所蔵者別一覧

二元 安永 六年七月	一色村との用水争論につき富沢村返答書	三〇	文化一年六月	大堰下の用水争論につき内済証文	三九
二元 安永 六年九月	一色村と富沢村との用水争論につき済口証文	三一	文政一二年八月	三保堰分水一件につき納米里村他二ヶ村詫書	三八
二元 安永 六年九月	用水争論内済につき一色村請書	三二	文政三年二月吉日	井組二九ヶ村高反別等書上	三七
二元 安永 七年六月	用水掛り年番役人賄方	三三	文政三年二月吉日	富沢堰用水掛合・掘抜	三六
二元 安永 九年四月	田畠成起返し差留につき願書	三四	文政三年二月吉日	間數等覚	三五
二毛 安永一〇年四月	富沢村と一色村の用水争論につき取曇証文	三五	文政三年二月吉日	富沢村堰・穴堰芝打・浚扶持人足・手当米金	三四
二元 天明二年七月	富沢村と一色村の用水争論につき内済証文	三六	文政三年二月吉日	湖水門書上覚	三三
二元 天明八年一月二八日	水掛り村々争論につき沼津役所宛水下村々訴状	三七	天保三年正月	富沢村寛永以降畠成田高入書上ケ覚	三二
二元 天明八年一月	水掛り村々争論につき	三八	天保三年	国役御普請木品代・人足賃・普請役人等書上	三一
二元 天明八年二月	深良村他三ヶ村返答書	三九	天保一年八月	富沢・一色両村掛り用	三〇
二元 天明八年二月	水掛り村々争論につき	三九	天保一年八月	水路新規掘替覚帳	二九
二元 天明八年二月	水下村々返答書	三九	天保一年八月	富沢村他二ヶ村用水堰新規掘替合金請取証	二九
二元 天明八年二月	水掛り村々争論につき	三九	弘化四年六月	法喜庵賀歌	二九
二元 天明八年二月	深良村他三ヶ村内済願	三九	安政二年六月	三保堰分水等用水争論	二九

内熱により手鎖赦免願	水掘抜元締の覚	御宿村箱根湖水掘抜水	御宿村箱根湖水掘抜水
書	御宿村箱根湖水掘抜水	御宿村箱根湖水掘抜水	御宿村箱根湖水掘抜水
二〇 万延 元年 三月	二〇 寛文 六年	二〇 寛文 六年	二〇 寛文 六年
沢村用水堀通路新橋に 上土狩村と水窪村、富	つき取替規定書	御宿村田畠指出状	御宿村田畠指出状
二一 明治 元年一〇月	つき取替規定書	二一 宽文 一年一〇月一四日	二一 宽文 一年一〇月一四日
二二 明治 一二年 七月	村方用水路御尋につき 富沢村他二ヶ村返答書	二二 宽文 五年六月	二二 宽文 五年六月
二三 明治 一二年 七月	惣ヶ原水分神社創立願 書	二三 宽文 五年六月	二三 宽文 五年六月
二四 明治 一二年 七月	函根湖用水組合深良村 外式拾七ヶ村水利土工	二四 元禄 九年一一月	二四 元禄 九年一一月
二五 明治 一二年 七月	協議会議案	二五 宝永 四年六月二四日	二五 宝永 四年六月二四日
二六 年未詳	富沢堰(2)	二六 宝永 四年一二月	二六 宝永 四年一二月
二七 年未詳	富沢堰(3)	二七 宝永 五年正月一二日	二七 宝永 五年正月一二日
二八 年未詳	集落と用水(2)	二八 安永 九年七月	二八 安永 九年七月
二九 湯山匡秀氏所文書 藏	○ヶ村願書	二九 箱根水懸り村々高帳	二九 箱根水懸り村々高帳
三〇 褐野市御宿三〇七	二九 箱根水村々用水諸入用	三〇 割帳	三〇 割帳
三一 慶安 三年 八月二八日	三〇 新川・木瀬川諸堰書上	三一 覚	三一 覚
三二 大畑村他五ヶ村山林 古跡・用水等書上	三一 水不足につき水門・土 手普請三一ヶ村願書	三二 水不足につき水門・土 手普請三一ヶ村願書	三二 水不足につき水門・土 手普請三一ヶ村願書
三三 万治 三年~寛文 六年	三三 安永一〇年 正月	三三 水門掘下げ御普請につ き箱根山神領役人宛願	三三 水門掘下げ御普請につ き箱根山神領役人宛願
三四 御宿村年貢米金皆済目 録	三四 野村彦太夫裏書	三四 書	三四 書
三五 寛文 六年 七月二二日	三五 天明 元年 五月	三五 國役御普請出来形帳	三五 國役御普請出来形帳
三六 錄	三六 五年 三月	三六 かろうと堰五ヶ村自普	三六 かろうと堰五ヶ村自普

掲載資料所蔵者別一覧

文政二年八月一三日	新川土手破損所并湖水 門伏替見積下帳	請書付 充一	文政三年九月	井組二九ヶ村高反別控
文政二年八月	井組二九ヶ村新川国役 御普請願書	四〇〇 四六〇	文政三年二月	御宿村諸役錢割附帳
文政三年二月	箱根湖水新川通御普請 内目論見帳	四五五 四五五	文政四年六月	湖水門木口控
文政三年二月	須釜新川通御普請箇所 附内目論見帳	四九二 四九二	天保三年三月	新堰用水路御普請請負
文政三年六月	井組二九ヶ村新川国役 御普請願書	四九〇 四九〇	天保一四年二月二三日	金御助成二九ヶ村願書
文政三年八月	箱根湖水新川通御国役 御普請書上帳	五〇三 五〇三	天保一四年一〇月	湖水門木口控
文政三年八月	国役御普請見分につき 伝馬手形	五〇九 五〇九	天保一五年七月二二日	一札及び普請所仕方覺
文政三年九月	二九ヶ村国役御普請取 懸願書	五一〇 五一〇	天保一五年七月二七日	国役御普請井組村々願書
文政三年九月	国役御普請地頭出金に つき書付	五一一 五一一	天保一五年七月二七日	書
文政三年九月	国役御普請土取場見分 費用につき一札	五一三 五一三	天保一五年八月	御宿村新堰大破につき 普請所見分願書
文政三年九月	水懸り村々私領出金高 覚	五一四 五一四	天保一五年八月	御宿村用水路御普請見分
文政三年九月	古堰(2)	五一五 五一五	天保一五年八月	分届
文久元年			天保一五年七月	かろうと堰国役御普請
			天保一五年七月	につき御宿村願書
			嘉永二年七月二七日	小田原・沼津藩見分中
			弘化三年一二月	諸入用等取調勘定帳
			嘉永二年七月二七日	湖水御普請につき江戸 出府・雜用入用帳
			天保二年七月二七日	国役御普請かなわずに つき松長役所宛御普請
			古堰(2)	願書
			古堰(2)	書

一覽 所蔵者別資料掲載

元治 明治一四年九月三日	湖水逆川口確認保護方規定	二七 安永三年八月	水掛り村々争論につき上郷返答書
元治 明治二一年八月三日	御宿村湯山半七郎水車建設願	二八 安永五年七月	井組二九ヶ村宛拾給役人申合せ定書
元治 明治二二年四月一五日	箱根湖水門修繕御願	二九 安永五年七月	元七 御普請願諸入用定書
元治 明治二六年四月六日	芦之湖用水新規使用差留につき深良村他願書	三〇 天保一四年三月	西〇 天保地震による大破につき地頭所宛国役御普請願書
明治二六年一〇月二〇日	仙石原村長河水引用及川敷切下之義御認願	三一 弘化二年三月	天保地震による大破につき地頭所宛国役御普請願書
明治三〇年一〇月二〇日	逆川事件名古屋控訴院判決書	三二 弘化三年三月	天保地震による大破につき勘定奉行所宛国役御普請願書
明治三一年七月二三日	東京水力電氣株式会社芦之湖用水使用契約書	三三 弘化三年閏五月	天保地震による大破につき勘定奉行所宛国役御普請願書
明治三一年九月二十四日	逆川事件調停案	三四 弘化三年一月	井組二九ヶ村高明細帳
明治三六年九月九日	芦湖紛議調停につきて	三五 万延元年閏三月	三保堰・穴堰立会番出入に關する規定書
明治三六年九月	逆川事件和解式次第書	三六 明治二九年四月	箱根湖用水逆川其他事件諸筆記
勝又重俊氏所蔵文書	裾野市久根三五一 究(寛文年中)	三七 年未詳(明治三二年写)	佐野堰(1)
久根村箱根山湖水掘貫	元締名前書上	三八 年未詳	水門と逆川(1)
水掛り村々争論につき	久根村訴狀	三九 年未詳	下穴口
水掛り村々争論につき	久根村訴狀	四〇 年未詳	新川(2)
水掛り村々争論につき	久根村訴狀	四一 年未詳	大堰(2)

市川逸朗氏所藏文書

裾野市公文名二二一一

三 寛文二三年	六月	五日	箱根掘貫畠成田出精養 美銀子請取狀	一四	一〇 宝曆一年	五月	八日	用水不足につき石脇村 願書	二三三
空 貞享三年	四月	一七日	「公文名村・稻荷村明 細帳」堰人足等書上	一五	一七 明和三年	四月		佐野村宿堀口一件済口 証文	六六
付 岡安永五年	五月		箱根湖用水水論大繪図 争論詮議日延につき水 下村々願書	一五	一八 安永二年	六月		水掛り村々争論につき 石脇村役人請書	一四
一九 寛政元年	七月	晦日	井組二九ヶ村新川国役 御普請願書	一五	一九 安永二年	八月		江戸表詮議につき拾給 役人宛石脇村上申書	一六
二〇 文政三年	二月		国役御普請につき私領 出金村高書上帳写	一六	二〇 安永二年	九月		用水争論につき江戸表 水配入取調書	一七
二一 文政三年	九月		湖水掛堰々水配帳	一七	二一 安永三年	三月	二六日	拾給役人内溝仰渡につ き村々申立	一八
二二 文政一〇年	五月		水配入役交替一件	一八	二二 安永三年	八月		水論江戸表公儀日記帳	一九
二三 文政二年二月	二月		井組三郷水配入給取立 帳	一九	二三 安永三年	一月		水掛り村々争論につき 檢使日記覺書	二〇
二四 天保二年閏一月			国役御普請下ヶ金前借 願書	二〇	二四 安永三年	一月		中郷六ヶ村と佐野村、 佐野堰口石居につき取 替証文	二一
二五 弘化三年閏五月	七月		湖水御普請願につき惣 代江戸出勤覺書	二一	二五 文政五年一〇月			三俣堰・穴堰立会番出 入につき、井組村々よ	二二
二六 弘化三年一月			國役御普請につき私領 出金高書上帳	二二	二六 万延元年閏三月				一〇八七

水懸用水路取調目錄 · · · 六九七

佐野区有文書

裾野市佐野

元年	延享	元年	佐野堰とその水系図	裁許状
宝永五年	延享元年	佐野堰(2)	方等百姓連印口上書	一〇〇三
五年五月	延享元年	集落と用水(1)	水掛り村々争論につき	一一〇三
五年五月	天明六年	佐野村請免につき水引	深良村他三ヶ村内済請	一一〇四
五年五月	天明八年二月	水掛り村々争論につき	書	一一〇五
五年六月	大正七年六月一日	深良製材製函工場との契約書	水門(4)	一〇〇六
五年六月	大正七年未詳	逆川甲羅伏せ(2)	上穴口と下穴口(2)	九九四
五年六月	大正七年未詳	新川(1)	九九五	九九五
五年六月	大正七年未詳	古堰(3)	佐野堰(2)	一〇〇七
五年六月	大正七年未詳	惣ヶ原		一一〇一

石脇区有文書

掲載資料所蔵者別一覧

三六 文政 三年	裾野市石脇 佐野堰(3) ······	100四
静岡県芦湖水利組合所蔵文書		
一〇 寛文 六年 四月一三日	裾野市佐野一〇五九 箱根湖水掘貫につき友 野与右衛門他三名手形 :	二〇
三 寛文 六年 七月一八日	箱根湖水掘抜につき発 企人大庭源之丞への指 入証文 ······	二〇
二四 明治 七年 五月	箱根湖水向後取扱規定 書 ······	三三
三〇 明治二六年一月一五日	平松与市郎芦之湖用水 使用契約書 ······	三三
三〇 明治二九年四月一四日	逆川事件につき小泉村 書記実地検分復命書 ···	三三
三〇 明治二九年五月一日	逆川事件につき箱根湖 水利組合告訴状 ······	三三
三〇 明治二九年五月二二日	逆川事件に関する新聞 報道 ······	三三
三〇 明治二十九年五月 一七 七月一五日	湖水逆川破壊事件二付 呈出セシ証拠書類目録 : 二〇三	三三
三〇 大正 二年 一月二七日	付図 明治三二年写 明治四年四月	三三
三六 明治二九年二月一六日	逆川事件横浜地方裁判	三六
	裾野市石脇 所判決 ······	八四
	明治二九年一二月一六日 逆川事件横浜地方裁判 所判決 ······	八四
	明治三〇年四月二四日 逆川事件上告趣意書 ···	八九
	明治三〇年七月八日 逆川事件訴訟を名古屋 控訴院へ移送判決書 ···	八〇
	明治三〇年七月八日 逆川事件訴訟を名古屋 控訴院へ移送通知の電 報 ······	八六
	明治三〇年一〇月二六日 逆川事件大審院上告答 弁書 ······	三一
	明治三一年一月二一日 逆川事件大審院判決書 ···	三二
	明治三一年三月 逆川事件顛末記録 ······	三三
	明治三二年写 水門(2) ······	三三
	明治三二年写 上穴口と下穴口(1) ···	三三
	明治三二年写 豊後堰・古川・太郎右 衛門堰図 ······	三三
	佐野堰と千福堰 ······	一〇五
	瀬名沢と黄瀬川合流地 点(2) ······	一〇六
	芦之湖水力電氣株式会 深良用水御普請所絵図	一〇六

三七	大正四年	一月二五日	社との電気事業契約書	八一	昭和七年	一月二〇日	東京電燈灌漑用水貯水保証書	一一一
三八	大正四年	過	芦湖水利組合の成立経	八三	昭和二年	二月二三日	芦之湖水利組合水配人	一一七
三九	大正八年	通水利組合規約	八四	昭和二〇年	七月一八日	芦之湖水利組合事務引継	一一九	
四〇	大正九年	用水使用各社との契約	八五	昭和三〇年	二月一一日	駿東郡深良村外五ヶ市	一二〇	
四一	大正一三年	書	八六	昭和三〇年	五月一一日	町村芦湖水利組合規約	一二一	
四二	大正一四年	東京電燈株式会社との	八七	昭和四二年	三月二〇日	河川法に基づく慣行水	一二二	
四三	大正一四年	電氣事業契約書	八八	昭和四八年	五月一一日	利権の届出書	一二三	
四四	大正一四年	芦湖々水敷地占用並ニ	八九	昭和四八年	五月一一日	芦ノ湖の水利用につい	一二四	
四五	大正一四年	工作物設置許可ノ申請	九〇	昭和四八年	五月一一日	て箱根町長お願い	一二五	
四五	大正一四年	九月二二日	九一	昭和四八年	六月二九日	芦ノ湖の水利用につい	一二六	
四六	大正一四年	芦湖水利組合東京電	九二	昭和四八年	六月二九日	て裾野市長回答	一二七	
四七	大正一四年	燈会社へ田面旱魃損害	九三	昭和五〇年	一二月一五日	芦ノ湖水神社建設資金	一二八	
四八	大正一四年	賠償請求書	九四	昭和五〇年	一二月一五日	決算報告について	一二九	
四九	大正一四年度旱害東京	九五	昭和五三年	二月	芦湖水利組合財産目録	一二〇		
五〇	大正一四年度旱害東京	電燈会社二対スル交渉	九六	昭和五六六年	九月二五日	東京電力株式会社及び	一二一	
五一	大正一四年度旱害東京	関係記録	九七	昭和五六六年	九月二五日	姫川電力株式会社との	一二二	
五二	昭和三年	芦ノ湖水位減	九八	昭和五九年	四月	契約書	一二三	
五三	昭和三年	少のため大旱魃報告	九九	昭和五九年	四月	静岡県芦湖水利組合規	一二四	
五四	昭和四年二月一九日	大正一四年から昭和三	一〇〇	昭和五九年	四月	約	一二五	
五五	年までの旱害報告	一〇一	昭和五九年	四月	約	一二六		
五六	昭和五九年一月一九日	芦ノ湖取水抑制について	一〇二	昭和五九年	四月	約	一二七	

揭載資料所藏者別一覽

元禄	元年二月	箱根掘抜水掛け高反別	宝永	二年四月	水掛け村々水論につき
奕	元禄二年	水支配人の創置につき	宝永	三年正月五日	茶畠村砂入田地開発のため出入足敷免願
空	元禄三年四月一六日	小柄沢堰口争論につき	宝永	三年正月	砂入田地開発のため茶畠村扶持米入用拝借願
宍	元禄三年四月二八日	水下村々訴状申渡書	宝永	三年七月	水掛け村々争論につき下郷訴状
宍	元禄七年五月	小柄沢堰口争論につき	宝永	五年正月	評定所詮議につき茶畠村甚右衛門口上書
宍	元禄一〇年三月五日	茶畠村新左衛門ら新堰一件につき口上書	宝永	六年七月	用水引方につき水下村々願書
宍	元禄一年七月	茶畠村新堀方角覚	宝永	五年五月二九日	佐野堰分水につき公文名村他二ヶ村願書
宍	元禄一年七月	国絵図作成のため箱根掘抜新川取調	宝永	二年七月	用水引方につき水末村々願書
宍	元禄二年正月二八日	国絵図作成につき茶畠村畑成田等書上	元文	二年八月	湖水支配の定につき水掛り村々請書
宍	元禄三年七月一七日	箱根掘抜水につき水配人口上書	元文	六年二月	下郷拾五ヶ村井堰川除人足積り帳
宍	元禄一四年七月	掘抜水門口堀下げ御普請三〇ヶ村願書	元文	六年二月	水配役人申合せ定書
宍	宝永元年一二月	深良用水沿革につき水配人口上書	延享	三年七月	田畠起返し差留につき井組村々請書

掲載資料所蔵者別一覧

一〇 天明 二年 四月一日	国役御普請につき普請 役宛書付写	哭五
一一 天明 三年一〇月	湖水御普請願物代出府 につき神山村他九ヶ村	哭三
一二 天明 五年三月	伺書 用水役人賄入用につき 井組村々定書	哭三
一三 天明 五年六月一四日	中郷水配人助役有免の 願書 用水引方につき深良村	哭四
一四 天明 五年六月	願書 出府員数につき水下村 々願書	哭四
一五 寛政 元年六月	水掛り村々争論につき 済口証文	哭七
一六 寛政 二年三月二一日	深良村救濟をめぐる争 論につき小田原藩宛下 郷村々注進書	哭九
一七 寛政 二年四月	深良村救濟をめぐる争 論につき深良村等訴状 深良村の救濟をめぐる争	哭十
一八 寛政 二年六月	論につき深良村等訴状 深良村の救濟をめぐる争	哭十
一九 寛政 三年九月	争論次第につき一札 深良村救濟をめぐる争	哭四
二〇 寛政 三年四月	深良村救濟をめぐる争	哭五
二一 寛政 五年九月	論につき内済証文 箱根湖水門堰桶大破に つき二九ヶ村見分願書 神山村他九ヶ村箱根湖 水門普請拝借金返済に つき一札	哭四
二二 寛政 五年一〇月	茶畠村用水権掛替につ き伺書 中郷水配人交替につき 深良村助合金受取覚 願書 箱根湖水門普請用木請 負手形	哭五
二三 文化 六年二月	文政 元年一二月 文政 九年三月	哭五
二四 寛政 六年四月	寛政 六年四月	九日
二五 寛政 七年未詳	年未詳 年未詳 年未詳 年未詳 年未詳 年未詳 年未詳 年未詳 年未詳 年未詳	三五
二六 寛政 八年未詳	古堰(1) 佐野堰(4)	九〇
二七 寛政 九年未詳	千福堰	一〇〇
二八 寛政 十年未詳	富沢堰(1)	一〇〇
二九 寛政 十一年未詳	大堰(1)	一〇〇
三〇 寛政 十三年未詳	三保	一〇〇



掲載資料所蔵者別一覧

一 嘉永 五年 七月	三俣堰取扱一件、手鎖 村預ヶ御免願	につき小田原藩より沼津藩宛返書	
一 安政 二年 六月	三俣堰分水等用水争論 につき立会番差出内済 証文	三九 四〇	
一 安政 四年 五月	三俣堰・穴堰立会番に つき水下五ヶ村願書	四〇四	
一 万延 元年 四月	三俣堰・穴堰立会番出 入につき水下五ヶ村内 済証文	四〇七	
一 万延 元年 四月一〇日	三俣堰・穴堰永久立会 番設置の願書	四一二	
一 万延 元年 四月	下郷水配人より三俣 堰・穴堰永久立会番任 命願	四一四	
一 万延 元年 五月 一日	三俣堰・穴堰立会番一 件願書取下願	四五	
一 万延 元年 五月	三俣堰・穴堰をめぐる 争論につき水下五ヶ村 願書	四五	
一 万延 元年 五月	三俣堰・穴堰出入内済 取替規定書	四六	
一 慶応 三年 八月二三日	下郷二ヶ村土用明分水	二六	
川井 清氏所蔵文書		三 寛文 六年 五月一七日 箱根湖水掘抜につき、 友野与右衛門他三名手 芦ノ湖と水門(1)	六七 六八 六九
箱根神社所蔵文書		三 寛文 六年 箱根湖切貫新田開発に つき友野与右衛門他立 願状	七〇 七一
神奈川県足柄下郡箱根町元箱根八〇 箱根町立郷土資料館所蔵文書		三 寛文 三年 二月一三日 快長僧正・友野与右衛 門江戸出願記録	七二 七三
神奈川県足柄下郡箱根町湯本二六六 神奈川県足柄下郡箱根町所蔵文書		三 寛文 三年	七四

揭載資料所藏者別一覽

掲載資料所蔵者別一覧

西 延宝 四年 五月一八日 本宿村箱根掘抜上穀米	『旧幕引継文書』
手形 ..... 〇四	「浅草觀音領門前町武士屋敷之覺」
手形 ..... 〇四	東京都千代田区永田町一一〇一
手形 ..... 〇四	国立国会図書館所蔵
毛 延宝 六年 七月一一日 本宿村箱根掘貰上穀米	長濱半兵衛江戸浅草田
手形 ..... 〇五	町屋敷買取記録 ..... 〇九
六 延宝 七年 八月二〇日 本宿村箱根掘抜上穀米	手形 ..... 〇五
手形 ..... 〇五	手形 ..... 〇五
三〇 延宝 八年 九月二六日 本宿村箱根掘抜上穀米	手形 ..... 〇七
手形 ..... 〇七	京都市左京区
一〇 元禄一二年 二月 地震・大風雨につき水	田辺陸夫氏所蔵
手形 ..... 〇七	『小田原藩永代日記』
一〇 元禄一二年 二月 地震・大風雨につき水	畠 延宝 二年 正月一九日 小田原藩箱根掘貰穴浚
手形 ..... 〇七	奉行任命記録 ..... 二三
三 宝永 二年 正月 箱根湖水掘抜につき堰	吉田新田地小作手形 ..... 一〇一
役人口上書 ..... 一六	「吉田新田關係文書記録」
△ 宝永 四年 本宿村箱根湖水掛り組	（武相考古会、昭和一年）
合離脱願 ..... 一八	新田内新田地小作手形 ..... 一〇一
三 宝永 二年 八月 一日 友野与右衛門武藏国吉	田新田内田地永代壳渡
太田南畝『竹橋余筆』 東京都千代田区北の丸公園三一二	証文 ..... 一〇一
九 寛文 六年 四月一三日 箱根湖水掘抜願書幕府 記録 ..... 一〇一	同

## 〔金石文〕

裾野市深良六一五

元 寛文一〇年九月六日 深良村町田庚申供養塔：七三

神奈川県足柄下郡箱根町元箱根地先  
平成二年 神奈川県湖尻水門の由

元 寛文一〇年 裾野市深良二五〇九

深良村切久保庚申供養塔：七三

志賀富士男「箱根用水の謎を解く」  
〔科学朝日〕一〇卷一二号 朝日新聞社

元 正徳元年 惣ヶ原芦湖水神社

メ水仁碑：七三

昭和二十五年二月 隧道内断面実測図  
昭和二十五年二月 新規作成

元 大正一三年一月二六日

惣ヶ原芦湖水神社棟札：七四

深良用水水系図

柏木千畠氏宅内

駿東郡長景町納米里九一五

元 正徳元年 納米里村地蔵尊：七五

## 賽の河原

神奈川県足柄下郡箱根町元箱根二六

興福院管理地

元 寛政三年五月 井組二九ヶ村奉納箱根

## 〔図版〕

六

神社常夜燈………七三

来………六

神奈川県足柄下郡箱根町元箱根地先  
平成二年 神奈川県湖尻水門の由

平成二年 神奈川県湖尻水門の由

平成二年 神奈川県湖尻水門の由

## あとがき

裾野市史編さん事業は、昭和六三年度から本格的な活動に入り、着手年度から『裾野市史研究』、『資料叢書』等を刊行、三年目にして『市史』第一冊目を発刊できることとなりました。

当市の市史編さん事業は、およそ一七年前に、故牧野驥先生や大庭景申先生等が、市史準備員として旧家の所蔵古文書を研究、解説をされたのに始まります。その後、古文書を読む会の皆様のご協力により、貴重な史料の保存が徐々に進められてきました。この間元教育長の故芹沢茂一先生が情熱をもってその基礎をつくられ、前教育長土屋明正先生や現教育長がこれを積極的に進めてまいりました。

昭和六一年には、以前より裾野市内の古文書を整理、研究し続けてこられた高橋敏先生を招聘し、市が本事業へ取り組むにあたってのご指導をいただき、同年一二月には市史編さん準備委員会が発足、昭和六二年三月に市史編さん委員会条例が制定されました。

そして、有光友學先生を代表とする五名を市史編さん専門委員として委嘱し、昭和六三年四月に市史編さん委員会が正式に発足、事業方針・刊行計画を策定、組織の確立を期しました。また、史料の調査、収集は、膨大、且つ未知数で、これを専門的に行うために歴史・考古・民俗学の先生方をさらに調査委員として委嘱、地域には地区協力員をお願いし、情報の収集や連絡調整等についてご協力をしていただくことで体制の充実を図りました。

調査・収集活動は市内巡見から始まり、旧家の所蔵資料や区有・行政・学校資料などをはじめ、市外や県外までも

調査し、その数は現在約四万点余にのぼっており、なお中世や近現代資料を中心に調査・収集を続けています。調査や資料整理作業では、市民の方々をはじめ武藏大学・横浜国立大学・静岡大学・東京女子大学・早稲田大学・東京大學等の学生諸氏、市内の石造物所在調査では静岡県立裾野高等学校郷土研究部のご協力を得ながら進めており、調査結果は順次『裾野市史資料目録』、『資料叢書』『裾野市史調査報告書』として刊行をしています。

これら資料は、一点ごとに編年順に整理し、古文書・絵図はマイクロ撮影を行い、近現代史料の一部となる県内発行の全新聞の関係記事を、必要データ別に備えるなど、本市の歴史を理解するうえでの貴重な資料を広く、永く保存し、後々市民の皆様が活用できるようになります。

このたび刊行の『市史 第六巻 資料編 深良用水』は、江戸時代の初期、江戸浅草の町人友野與右衛門等と深良村名主大庭源之丞、地元住民が箱根権現別当の協力を得て、箱根外輪山を掘り貫き、この地域一帯に芦湖の水を引いて新田の開発を計画、完成させ、その後も水掛り村々が組合を作るなどしてこれを守り、現在も農業用水・生活用水として私達の生活を潤しています。深良用水について、それが如何に作られ、守られ、使われてきたか、民衆の知恵と努力を証明する資料の集積であります。

掲載資料の編纂にあたっては、市内はもとより全国規模であたり、関係諸機関、所蔵者への確認調査も休・祭日返上で実施してきました。文書解読、筆耕では大勢の方々にご協力をいただき、校正作業に入つてからも多忙さは常軋を逸し、担当委員諸氏には日夜、寝食を忘れご尽力いただきました。

資料所蔵者をはじめ下郷関係区の皆様、箱根神社、箱根町教育委員会、県内市町村、地区協力員の皆様、芦湖水利組合など、多くの方々に格段のご配慮とご協力を賜り、心からお礼と感謝を申しあげる次第です。なお、印刷製本に

あとがき

ついて㈱精興社にはご努力をいただき厚くお礼を申しあげます。

市史編さん関係者一同は、郷土の歴史について今後なお一層広い視野のもとで、事業推進をしてまいりますので、  
ご支援ご協力を願い申しあげます。

平成三年三月

裾野市教育委員会 市史編さん室長

長谷川 博







裾野市史編さん関係者

同 同 同 同 同 同 同 同 深 良 地 区 同 同 同 同 同 同 同

藤原善次	杉山繁雄	渡辺香	公文名村
稻荷村	久根村		
清水四郎	茶畠村		
飯塚正高	麦塚村		
星野直司	平松新田		
井上丹令	岩波村		
大庭三郎	深良村		
倉沢秀雄	同		
小林秀年	同		
高橋利治	同		
一ノ瀬和雄	同		
長田 稔	同		
藤森茂良	同		
増田一男	同		
杉本隆彦	今里村		
西島秀雄	千福村		

須山地区 同 同 同 同 同 同 同 同

勝又	秋男	同
勝又	常一	葛山村
柏木	仁	上ヶ田村
小野春隆	金沢村	
真田林蔵	下和田村	
野田達郎	須山村	

## 事務局

教育長 芹沢 仁  
教育次長 西川久雄

## 市史編さん室

室長	長谷川 博
主査	中野鈴子
主事補	今関浩子
事務員	浜田 明
同	丸山ゆかり
同	野村美穂子

## 本巻担当者氏名

○監修 高橋 敏  
○編集・校正

第一章 高橋 敏・閔根省治  
第二章 柴 雅房  
第三章 井口俊晴  
第四章 菊池邦彦・脇野 博  
第五章 岩崎信夫・岩田重則  
第六章 福田アジオ・中野國雄

## ○編集・校正協力委員

有光友學・杉村 齊

## ○筆耕・校正協力者

厚地淳司	静岡県立富士宮北高等学校教諭
黒田康子	神奈川県逗子市史編集委員
米田雅子	桐朋女子学園講師
中沢恵子	千葉県史編さん室

裾野市史編さん関係者

佐伯真人 筑波大学附属中学校教諭

根本弘美 神奈川県立都岡高等学校教諭

椿 真智子 筑波大学第一学群文部技官

○筆耕協力者

鈴木 強・栗原以有子・鈴木元子・稻 智穂

安宅正寿・池上美奈子・勝又花子・渡辺三重子

高木トシ・高橋具美・持田陸太郎・鈴木佳正

井上悦子・勝又昭三

○口絵写真・史料撮影

堤 勝雄

○史料撮影

永島 愛治

○扉 絵

鈴木芳子 鈴木育英図書館々長

○史料整理協力者

東島 誠・細谷保子・猪俣律子・芹沢正巳

戸塚輝彦・山入アヤ子・境野仁子



裾野市史 第六巻 資料編 深良用木

平成三年三月二十五日 発行◎

編集 補助人 市史編さん専門委員会

発行 補助人 市

静岡県裾野市佐野一〇五九  
電話〇五五九(九二)一一一

印刷 株式会社 精興社

東京都千代田区神田錦町三丁目九番地